

平成30年度進行管理・評価シート

亀山市歴史的風致維持向上計画（平成21年1月19日認定）

（最終変更 平成31年3月15日）

▣進捗評価シート(様式1)

◎ 組織体制(様式1-1)

1 「亀山市歴史まちづくり事業調整会議」の設置	1-2
-------------------------	-----

◎ 重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)

1 景観行政団体への移行、亀山市景観計画の策定	3
-------------------------	---

◎ 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)

1 東海道街道環境整備事業(鈴鹿峠)	4
2 東海道街道環境整備事業(坂下宿)	5
3 東海道街道環境整備事業(太岡寺畷)	6
4 東海道街道環境整備事業(野村集落～野村一里塚)	7
5 「関の山車」会館整備事業	8-9
6 歴史的風致形成建造物修理事業	10
7 東海道関宿街道まつり	11
8 玉屋宿泊体験	12
9 亀山市納涼大会	13

◎ 文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)

1 歴史文化資産の調査・研究の充実と法令に基づく指定の推進	14
2 保護事業の推進	15-16
3 埋蔵文化財の保護	17
4 文化財の総合的な把握による普及・啓発の推進	18-19
5 文化財と一体となっている周辺環境の整備	20
6 市民・地域の参画による文化財を核としたまちづくりの推進	21-22

◎ 効果・影響等に関する報道(様式1-5)	23・24
◎ その他(効果等)(様式1-6)		
歴史まちづくりの効果	25
☐ 法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	26

評価軸①-1 組織体制

項目	評価対象年度	平成30年度
「亀山市歴史まちづくり事業調整会議」の設置	現在の状況	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 全市をあげて歴史的風致の維持向上を図っていくために、「(仮称)亀山市歴史まちづくり事業調整会議」の設置を行い、事業担当部署間の横断的調整及び庁内合意形成を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で
 重点区域内で実施される事業については、事業調整担当G(都市整備課都市計画G・文化スポーツ課まちなみ文化財G)と事業実施Gとの間で、事業内容等について個別に調整を進めるとともに、事業調整担当Gで進行管理を行った。
 【事業担当室数(累計)】
 計画認定時(2室1館)→ H21(5室1館)→ H22(5室1館)→ H23(7室1館)→ H24(7室1館)→ H25(7室1館)→ H26(7室1館)→ H27(7室1館)→ H28(7室1館)→ H29(7室1館)→ H30(7G1館)
 平成30年度は、組織改革による担当部署の名称変更あり。
 進行管理・評価については、事業調整担当Gと事業実施Gとの間で協議した後、亀山市歴史的風致維持向上計画協議会において報告し意見聴取した。

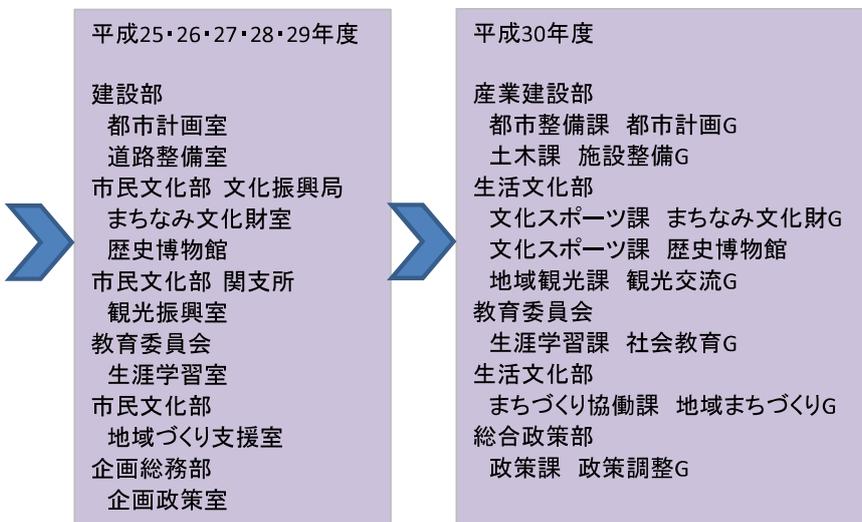
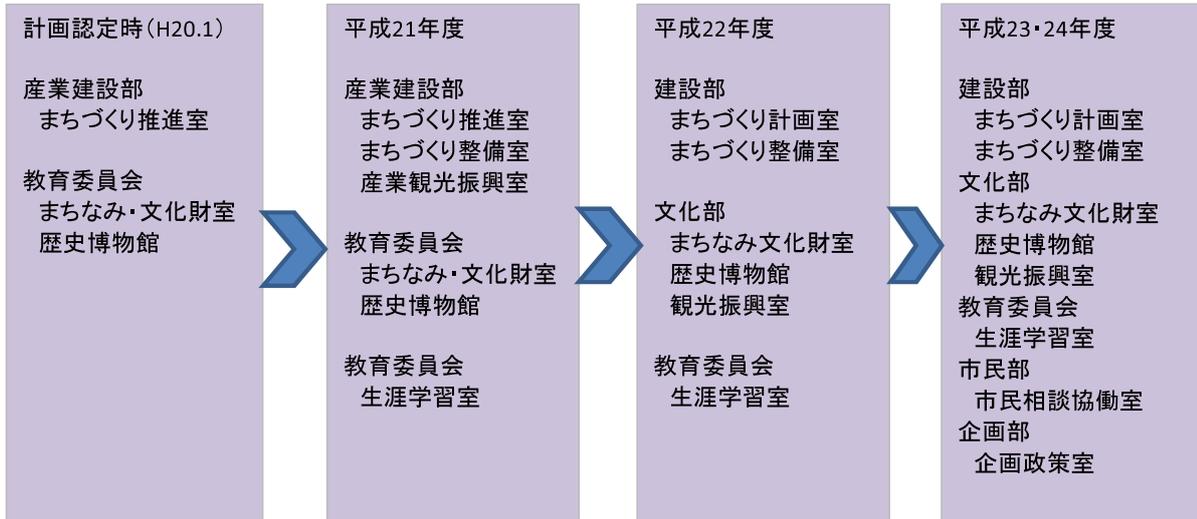
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

特になし

状況を示す写真や資料等

■ 歴史まちづくりへの全庁的な取り組み(事業担当室の推移)



■ 亀山市歴史まちづくり事業調整会議



【撮影：平成31年3月7日】

<開催日>

- ・平成30年4月5日(木)
- ・平成30年5月8日(火)
- ・平成30年6月8日(金)
- ・平成30年7月31日(火)
- ・平成30年9月3日(月)
- ・平成30年10月15日(月)
- ・平成30年12月21日(金)
- ・平成31年1月11日(金)
- ・平成31年3月7日(木)

<打合せの概要>

- ・進捗評価について
- ・平成30年度事業の進捗状況について

■ 亀山市歴史的風致維持向上計画協議会(平成31年3月15日(金)開催)



【撮影：平成31年3月15日】

<協議会の概要>

- ・現地視察
- ・経過報告
関の山車会館整備事業について
- ・議事
歴史的風致形成建造物の指定候補について
亀山市歴史的風致維持向上計画の変更について
平成30年度事業報告及び平成30年度進行管理・評価シートについて

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成30年度
		現在の状況

景観行政団体への移行、亀山市景観計画の策定

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容
本市では、平成23年6月に景観計画を策定し、市域全域を景観計画区域とした。景観計画区域のうち本計画に位置付けている重点区域については、景観形成推進地区及び景観重点地区の候補地とし、より積極的な景観形成基準等を定める地区とし、高さの規制を行う。さらに、景観形成推進地区及び景観重点地区において、良好な景観の形成が特に必要な地区は、地区住民の合意が得られるなどの条件が整い次第、景観地区や高度地区制度を活用する方針である。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成23年9月1日より、亀山市景観計画に基づく届出事務を開始し、景観形成推進地区内では、23年度は4件、24年度は8件、25年度は4件、26年度は7件、27年度は13件、28年度は6件、29年度は17件、30年度は10件(2月末現在)の景観届出を審査し、申請者とは意匠形態・色彩について詳細に協議を行った。これら市景観計画による景観誘導のほか、これまで不定期で実施してきた屋外広告物のパトロールを、平成24年4月から毎月実施することとし、良好な景観形成の推進に取り組んだ結果、環境美化が進んだ。また、重点区域内に2箇所指定した景観形成推進地区(亀山城下町、関宿周辺)に対し、景観計画の周知チラシを作成し周辺住民への周知を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

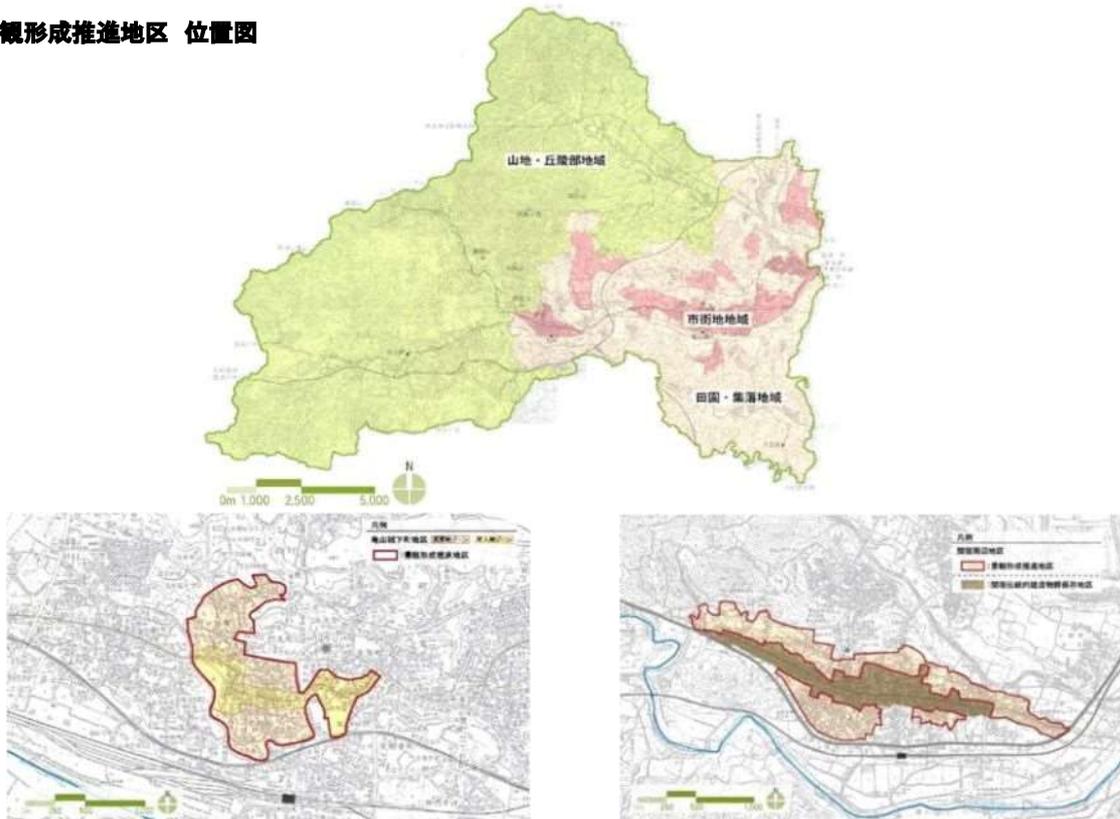
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

特になし

状況を示す写真や資料等

■景観形成推進地区 位置図



亀山城下町景観形成推進地区(上記地図の拡大)

関宿周辺景観形成推進地区(上記地図の拡大)

■屋外広告物撤去



撤去前

【撮影：平成31年3月】



撤去後

【撮影：平成31年3月】



評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
東海道街道環境整備事業(鈴鹿峠)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成27年度～令和2年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	東海上の鈴鹿峠において、峠の茶屋跡・峠道など関連する遺跡を保存整備するとともに、案内標識・ベンチ・東屋等を設置して街道環境を整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) * 定量的評価は可能な範囲で			
・旧東海道全体の周辺環境等に調和した整備方針について、市関係部局で検討会を立ち上げ、検討を行った。(平成28年度:8回開催) ・整備方針決定次第、当区間の整備を推進していく。 ・平成28年度の東海道整備方針検討会の結果を踏まえて計画を策定中である。			
進捗状況 * 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	東海道全体の整備方針を決定した上で年次計画に基づき事業化する。		
状況を示す写真や資料等			

■ 鈴鹿峠状況



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
東海道街道環境整備事業(坂下宿)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成27年度～令和2年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	東海道上の坂下宿において、路面を美装化、案内標識・ベンチ・東屋を設置して街道環境を整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) * 定量的評価は可能な範囲で			
・旧東海道全体の周辺環境等に調和した整備方針について、市関係部局で検討会を立ち上げ、検討を行った。(平成28年度:8回開催) ・整備方針決定次第、当区間の整備を推進していく。 ・平成28年度の東海道整備方針検討会の結果を踏まえて計画を策定中である。			
進捗状況 * 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	東海道全体の整備方針を決定した上で年次計画に基づき事業化する。		
状況を示す写真や資料等			

■坂下宿状況



評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	

東海道街道環境整備事業(太岡寺駅)

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成26～令和2年度
 支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 東海道上の太岡寺駅において、路面を美装化するとともに、案内標識・ベンチ・東屋・植栽を設置し、街道環境を整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) * 定量的評価は可能な範囲で

太岡寺駅全体整備延長約800mの内、歩道整備に係る盛土、法面整備工事を平成26年度は200m、平成27年度は240m、平成28年度に230m、平成29年度に145m、平成30年度に346m行った(実施:国土交通省及び亀山市)。また、平成26年度に桜9本、平成27年度に桜10本、平成28年度に桜14本、平成29年度に桜38本を植樹した。さらに、地域住民による桜まつり等のイベント活動が6年連続で行われ、地域住民と散策者との交流が促進された。

進捗状況 * 計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
 - 計画どおり進捗していない
- 平成26年度に事業期間を変更し、歩道、植樹整備は計画的に進んでいる。路面美装化等については、検討を実施している。

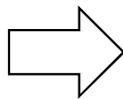
状況を示す写真や資料等

■地域コミュニティによる活動状



神辺地区コミュニティによる桜まつりの実施 平成30年4月1日実施【撮影:平成30年4月】

■太岡寺駅整備状況



整備前【撮影:平成30年11月】

整備後【撮影:平成31年2月】

評価軸③-4 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
東海道街道環境整備事業(野村集落～野村一里塚)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26～令和2年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	東海道上の野村集落において、路面を美装化するとともに、案内標識・ベンチ・東屋を設置し、街道環境を整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) * 定量的評価は可能な範囲で			
・旧東海道全体の周辺環境等に調和した整備方針について、市関係部局で検討会を立ち上げ、検討を行った。(平成28年度:8回開催) ・整備方針決定次第、当区間の整備を推進していく。 ・平成28年度の東海道整備方針検討会の結果を踏まえて計画を策定中である。			
進捗状況 * 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	東海道全体の整備方針を決定した上で年次計画に基づき事業化する。		
状況を示す写真や資料等			

■野村一里塚状況



■野村集落状況



評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	

「関の山車」会館整備事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成28～令和2年度
 支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 文化財としての山車を保管するとともに、見送り幕等の関連品や資料の保管、学習・展示、地元保存会や住民の寄り合いや山車の保存・伝承活動を行うため、「関の山車」会館として整備する。関宿伝統的建造物群保存地区内のメイン道路である旧東海道に面しており、保存地区の活用も図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・管理・展示棟(主屋)改修工事の実施(文化庁補助金)
- ・管理・展示棟(主屋)改修工事設計監理業務委託の実施(文化庁補助金)
- ・地域交流施設(山車収蔵展示棟)新築工事の実施
- ・地域交流施設(山車収蔵展示棟)新築工事監理業務委託の実施
- ・外構工事の実施
- ・外構工事設計監理業務委託の実施
- ・展示制作業務委託の実施(一部文化庁補助金)
- ・地域文化財総合活性化事業 重伝建 亀山市関宿(地域活性化) 文化財建造物等を活用した地域活性化(伝統的建造物等) 活用事業(県補助金)を活用し、亀山市立関小学校において児童を対象とした、お囃子の体験学習を実施した。参加者:47名
- ・文化財保護事業による市指定有形民俗文化財「関の山車」に関連した文化財補助金の交付を行った。補助金交付件数3件
- ・防犯・防災対策として、「関の山車」会館の警備保障の業務委託を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
 - 計画どおり進捗していない
- ・計画どおり山車会館整備事業を実施している。引き続き、地域住民や保存団体等と連携し、会館整備と整備後の活動への機運を高める。

状況を示す写真や資料等

□整備事業



▲ 修理前の管理展示棟(主屋)
【撮影：平成28年10月11日】



▲ 修理後の管理展示棟(主屋)
【撮影：平成30年11月15日】



▲ 地域交流施設完成後(新築)
【撮影：平成31年2月8日】

■ 関小学校においてお囃子の体験学習を実施
 (地域文化財総合活性化事業 重伝達 亀山市関宿(地域活性化) 文化財建造物等を活用した
 地域活性化(伝統的建造物等) 活用事業 県補助金)



■ お囃子の体験学習

■ 文化財保護事業による「関の山車」に関する文化財の補助金の交付

- 文化財保護事業 三番町自治会
 - ・ 弓張提灯及び山車用提灯新調



■ 弓張提灯新調
 【撮影：平成30年7月】



■ 山車用提灯新調
 【撮影：平成30年7月】

- 文化財保護事業 四番町自治会
 - ・ 弓張提灯及び山車用提灯新調



■ 弓張提灯新調
 【撮影：平成30年7月】



■ 山車用提灯新調
 【撮影：平成30年7月】

- 文化財保護事業 木崎自治会
 - ・ 梶棒新調(山車巡行用具)

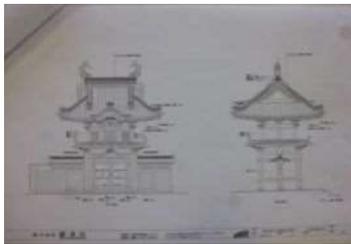


■ 梶棒新調
 【撮影：平成30年5月】

評価軸③-6
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度
		現在の状況	
歴史的風致形成建造物修理事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26～令和2年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	民間所有の歴史的風致形成建造物に指定した建造物について、その修理に対し補助金を交付する。		
定性的・定量的評価(自由記述) * 定量的評価は可能な範囲で			
・福泉寺山門(歴史的風致形成建造物・市指定有形文化財)の修理工事について、調査設計は平成27年度に、修理工事は平成29年度(平成28年度繰越)に、それぞれ完了した。			
進捗状況 * 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	特になし		
状況を示す写真や資料等			

■福泉寺山門



福泉寺山門修理設計図面【撮影:平成28年3月】

・福泉寺楼門修理工事



■ 工事着工前【撮影:平成29年7月】



■ 工事完成【撮影:平成30年3月】

・福泉寺楼門修理工事現場見学会を実施(平成29年9月23日)



【撮影:平成29年9月23日】



【撮影:平成29年9月23日】

**評価軸③-7
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項**

項目		評価対象年度	平成30年度
		現在の状況	
東海道関宿街道まつり		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	昭和61年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	「関の山車」巡行。お囃子の発表。引き回しへの一般市民の参加。		
定性的・定量的評価(自由記述) * 定量的評価は可能な範囲で			
・街道まつりで「関の山車」巡行等を行い、お囃子等の保存伝承活動を行った。 ・街道まつりへの参加来場者数: 13,000人 ・織田信長の三男、織田信孝の神戸氏への養子入りをテーマに行列の再現を行った。			
進捗状況 * 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	特になし		
状況を示す写真や資料等			

東海道関宿街道まつり



「関の山車」巡行【撮影:平成30年11月】



織田信孝の養子入り行列再現
【撮影:平成30年11月】

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	

玉屋宿泊体験

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成9年度～
 支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 重要伝統的建造物群保存地区・関宿内にある関宿旅籠玉屋歴史資料館(市指定文化財建造物)において、小学校高学年を対象とした宿泊体験学習会。

定性的・定量的評価(自由記述) * 定量的評価は可能な範囲で

市指定文化財建造物を会場として利用し、関宿のまちなみについて学習することにより、昔の人々の暮らしを理解し、参加した子どもたちの文化財保護意識の向上に資することができた。

主催: 亀山市子ども会育成者連絡協議会
 参加者数: 21名

進捗状況 * 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	特になし
状況を示す写真や資料等	

■玉屋宿泊体験



かまど体験 【撮影:平成30年8月】



関宿かるた 【撮影:平成30年8月】

評価軸③-9 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成30年度
項目	現在の状況	

亀山市納涼大会(葛葉太鼓、灯おどり)	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
---------------------------	---

事業期間 平成4年度～
 支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 伝統文化の発表「灯踊り」(灯おどり保存会)、「葛葉太鼓」(葛葉太鼓保存会)

定性的・定量的評価(自由記述) * 定量的評価は可能な範囲で

・納涼大会への参加来場者数:12,000人
 ・多くの人々の前で演奏したり、市民が多数参加することにより、地域の伝統芸能を周知することができただけでなく、新たな担い手の育成が図られ、各保存会の活性化につながった。

進捗状況 * 計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	特になし
--	------

状況を示す写真や資料等

■ 亀山市納涼大会(葛葉太鼓、灯踊り)



葛葉太鼓(葛葉太鼓保存会)【撮影:平成30年8月】



灯踊り(灯おどり保存会、市民総踊り)【撮影:平成30年8月】

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成30年度
			現在の状況
歴史文化資産の調査・研究の充実と条例に基づく指定の推進			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	地域の貴重な歴史文化資産を発見し適切に保護できるよう、文化財の調査・研究の充実につとめ、特に重要な歴史文化資産については、条例にもとづく文化財としての指定を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・重点区域内において、文化財の指定を進めた。指定等にはいたっていないが調査(1件)を行っている。 【重点区域内における文化財指定等された歴史的建造物の数】 H20:国登録(1件)・県指定(1件)・市指定(8件)→ H21:国登録1件追加、国登録(2件)・県指定(1件)・市指定(8件)→ H22:変更なし→ H23:変更なし→ H24:市指定1件追加、国登録(2件)・県指定(1件)・市指定(9件)→ H25:変更なし→ H26: 県指定(1件)→ H27:県指定(1件)→ H28:市指定(2件)→ H29:国登録(1件)・県指定(1件)→ H30:変更なし			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	特になし		
状況を示す写真や資料等			



国登録有形文化財 福徳公民館
 (旧明村立明小学校福徳分校)
 【撮影：平成29年8月】



三重県指定有形文化財(建造物) 宗徳寺層塔

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
保護事業の推進		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	歴史文化資産を適切に管理し、また積極的に保存・活用を図るためには、必要に応じて保護事業を進める必要がある(維持・管理、修理・修復、公有化等、防災)。		
定性的・定量的評価(自由記述) * 定量的評価は可能な範囲で			
・歴史まちづくり事業と連携して、文化財を適切に保存・活用するための事業を実施した。 ・文化財の修理等に対する支援:市指定有形民俗文化財「山車」(三番町、四番町、木崎)の付属品の修理。 ・文化財防災のための訓練(平成29年に国登録有形文化財となった福德公民館(旧明村立明小学校福德分校)における文化財防火デー防火訓練)→ 天気都合により中止 ・文化財防火デーにあわせて、有形文化財所有者及び管理者に対し、文書で火災についての注意喚起と防火活動の啓発を行った。 ・市公共事業に対する文化財保護として、市関係各室に事業照会し文化財保護協議を実施。			
進捗状況 * 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	特になし		
状況を示す写真や資料等			

■文化財の修理等に対する支援

- 文化財保護事業 三番町自治会
 - ・ 弓張提灯及び山車用提灯新調



■ 弓張提灯新調
【撮影：平成30年7月】



■ 山車用提灯新調
【撮影：平成30年7月】

- 文化財保護事業 四番町自治会
 - ・ 弓張提灯及び山車用提灯新調



■ 弓張提灯新調
【撮影：平成30年7月】



■ 山車用提灯新調
【撮影：平成30年7月】

- 文化財保護事業 木崎自治会
 - ・ 梶棒新調(山車巡行用具)



■ 梶棒新調
【撮影：平成30年5月】

■文化財防災のための訓練

文化財防火デー消防訓練

平成29年に国登録有形文化財となった福德公民館（旧明村立明小学校福德分校）において、平成31年1月27日に実施する予定であったが、大雪警報のため中止とした。

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
埋蔵文化財の保護		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	<p>市内における周知の埋蔵文化財包蔵地は、旧亀山市域で357遺跡、旧関町域で47遺跡あったが、平成17～20年度で、国庫補助事業により旧関町域において遺跡詳細分布調査事業を実施し、50遺跡を追加して454遺跡となった。</p> <p>旧関町域については、近世の遺跡を含む周知の埋蔵文化財包蔵地の把握を行ったところであるが、旧亀山市域については近世の遺跡は「亀山城跡」など一部を把握するにとどまっており、今後現地踏査、文献史料調査等により確認を進め追加していく。</p> <p>また、文化財の保存・活用に当たっては、当該文化財が所在する地点の埋蔵文化財の状況を把握した上で、その保護に十分留意するものとする。このことは、当該文化財の周辺に所在する、時代や性格等の上で一連の遺跡についても同様とする。</p> <p>開発行為にあたっては、周知の埋蔵文化財包蔵地については試掘調査を実施したうえで、必要に応じて発掘調査を実施する。また、周知の埋蔵文化財包蔵地以外についても、開発担当部局、及び事業者との事前協議を実施し、必要に応じて試掘調査を行うなど、開発行為と文化財保護との整合につとめる。協議にあたっては、三重県教育委員会との連絡調整を図るとともに、必要な指導を受ける。</p> <p>なお、市内における周知の埋蔵文化財包蔵地については、各事業に関連した位置図中に示した。</p>		
定性的・定量的評価(自由記述) ※ 定量的評価は可能な範囲で			
<p>・埋蔵文化財の保護として、平成18年度から継続して鈴鹿関跡範囲確認調査(発掘調査・現地測量調査)を実施。平成26年度までの調査成果をまとめた調査報告書を平成27年度に作成・刊行した。引き続き、鈴鹿関跡の学術的価値を明らかにするために発掘調査や現地地形測量調査等を行う。これらの調査の成果をもって、国史跡指定を目指す。</p> <p>現地測量調査面積：H18年度3,800㎡・H19年度6,000㎡・H21年度4,300㎡・H22年度5,200㎡・H23年度5,200㎡・H24年度9,000㎡・H25年度6,000㎡・H26年度6,000㎡・H28年度1,000㎡・H29年度400㎡・H30年度60㎡</p> <p>・市公共事業に対する文化財保護として、市関係各課に事業照会し文化財保護協議を実施。</p>			
進捗状況 ※ 計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	鈴鹿関西外郭線の範囲についてはほぼ確定してきた。今後、この西外郭線の範囲の国史跡指定のためには、確認されている遺構等の学術的価値を明らかにする必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
<p>■埋蔵文化財の保護</p> <p>埋蔵文化財(鈴鹿関跡)発掘調査</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">鈴鹿関跡発掘調査状況【亀山市関町新所、撮影：平成31年2月】</p>			

評価軸④-4 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
文化財の総合的な把握による普及・啓発の推進		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	有形・無形の文化財を、歴史的関連性や地域的関連性などに基づいて、相互に関連性のある一定のまとまり（「関連文化財群」）としてとらえ、これらをつなぐ物語を創造する。これにより、より多くの人々が文化財の価値に気づき、資産として活用しやすくする。 定性的・定量的評価（自由記述）※定量的評価は可能な範囲で		
文化財の価値を再認識するため、文化財を活用した普及啓発活動を行った。 ・歴史博物館による市内小中学校等への出前展示等：計8校 ・旧亀山城多門櫓周辺の文化財説明会を開催：随時			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	特になし		
状況を示す写真や資料等			

■歴史博物館による市内小中学校及び地域への出前展示等



亀山市立亀山南小学校
4年生 出前授業
【撮影：平成30年6月20日】



亀山市立亀山西小学校
3年生 出前授業
【撮影：平成30年10月12日】



亀山高等学校
出前授業
【撮影：平成30年10月22日】



亀山市立亀山西小学校
出前授業
【撮影：平成30年12月17日】



亀山市立井田川小学校
3年生 出前授業
【撮影：平成31年1月18日】



亀山市立川崎小学校
3年生 出前授業
【撮影：平成31年1月25日】



亀山市立亀山西小学校
5年生 出前授業
【撮影：平成31年2月6日】



亀山市立関小学校
出前授業
【撮影：平成31年2月8日】

■中部歴史まちづくり防災連携事業にかかる防災研修（現地視察in亀山）

中部地方整備局建政部および中部地方の歴まち計画認定都市を対象に、防災を主とした現地視察を実施。
参加：中部地方整備局建政部および9市町の15名



評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
文化財と一体となっている周辺環境の整備		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	関連文化財群により、文化財等が一定の範囲に集中する場合には、文化財等と一体となって価値を成す周辺の環境まで含め、亀山市景観計画を通じ、文化財の周辺環境の保全を図る。見学者の利便とともに地域住民との交流が行えるよう、適切な場所を選んで駐車場や案内板・説明板、トイレ等を整備する。また、文化財がよりよく望むことができる眺望のポイントの整備や、文化財の周囲における官民両空間における景観整備などにより、文化財が周辺の環境と一体となっていることが意識されるよう努める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※ 定量的評価は可能な範囲で			
・市指定史跡文化財に説明板を設置(3ヶ所)			
進捗状況 ※ 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	これまでの事業で、歴史的風致拠点整備が完了しつつある状況である。今後は、それらを結ぶ面的な整備計画に取り掛かりたい。		
状況を示す写真や資料等			

■文化財説明看板設置

・延命寺山門



■ 工事着工前【撮影：平成31年1月】

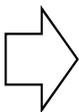


■ 工事完成【撮影：平成31年3月】

・法因寺の左巻カヤ



■ 工事着工前【撮影：平成31年1月】



■ 工事完成【撮影：平成31年3月】

・転び石(関町市瀬)



■ 工事着工前【撮影：平成31年1月】



■ 工事完成【撮影：平成31年3月】

評価軸④-6 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	平成30年度
項目		現在の状況	
市民・地域の参画による文化財を核としたまちづくりの推進		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	文化財の保存及び活用は、人々に文化財と触れる「きっかけ」や、文化財に関わる様々な活動の契機を提供することとなる。文化財の保存と活用を進めることにより、市民が文化財に触れる機会を充実するとともに、市民が文化財を核とした地域のまちづくり活動に参加することができるよう、施策の展開を図っていく。また、文化財に触れる機会や、文化財を核としたまちづくり活動を介して、人々の交流が進められるよう積極的な施策の展開を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) * 定量的評価は可能な範囲で			
文化財を核とした様々なまちづくり活動を実施した。 ◆ 市民・地域が中心となった歴史的建造物を活用したイベント等の開催。 ・地元住民が中心となって旧館家住宅と旧木村邸でひな飾りを展示した。開催期間：平成31年2月9日～平成31年3月3日 来場者数：旧館家2,506名 旧木村邸6,694名 ◆ 重点区域内での様々なまちづくり活動の波及効果として、重点区域外で文化財を核としたまちづくり活動が行われている。 ・峯城跡(県指定史跡)保存会活動。 ・金王道ウォーキング。開催日：平成30年5月19日 参加者：40名 平成30年10月21日 参加者：40名			
進捗状況 * 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	特になし		
状況を示す写真や資料等			
◎市民・地域が中心となった歴史的建造物を活用したイベント			
■ 東海道のおひなさま(亀山市観光協会主催)			
			
旧館家住宅(市指定建造物・歴史的風致形成建造物)でのひなまつり。地元市民が中心となってひな飾りを展示【撮影：平成31年3月】	旧木村邸(歴史的風致形成建造物)でのひなまつり。地元市民が中心となって雛飾りを展示【撮影：平成31年3月】		
◎重点区域外で文化財を核としたまちづくり活動			
■ 峯城跡保存会活動(峯城保存会)			
			
峯城跡の地元住民が自主的に『峯城保存会』を立ち上げ、城跡への道の草刈りや城内の雑木の間伐を実施するなどして、峯城跡の歴史的環境の整備をできる範囲で実施。 【撮影：平成30年10月】			

■金王道ウォーキング(金王道ウォーキング実行委員会主催)



第23回金王道ウォーキング【撮影:平成30年5月19日】



第24回金王道ウォーキング【撮影:平成30年10月21日】

亀山市南部の屋生地区に残る、伝説の武将「渋谷金丸」が通ったと言われる道『金王道』を歴史ロマンに彩られた隠れ古道として顕彰し、後世に伝えるとともに屋生地区のまちづくり事業の一つとして、初夏と秋にウォーキングを実施。

評価軸⑤-1 効果・影響等に関する報道		評価対象年度	平成30年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
亀山高郷土研の軌跡 市歴史博物館が企画展	平成30年4月22日	伊勢新聞	
空き家を改装 開業に補助金	平成30年4月25日	中日新聞	
地域の歴史発掘 若者の歩み 亀山高郷土史クラブ巡り企画展	平成30年5月2日	朝日新聞	
武将の気分味わう 亀山 関宿で甲冑着用体験	平成30年5月6日	伊勢新聞	
空き店舗の改装 亀山市半額補助	平成30年5月6日	朝日新聞	
地域歴史調査に亀山高生が奮闘 郷土研究会の成果展示	平成30年5月9日	伊勢新聞	
空き家の購入促進へ 亀山市 金融支援機構と協定	平成30年5月16日	中日新聞	
街道沿いの家屋に絵手紙 関宿で「ミュージアム」	平成30年5月25日	中日新聞	
ハナショウブ開花 亀山公園 10日には祭り	平成30年5月29日	中日新聞	
24万冊の蔵書目指す 亀山市の新図書館基本計画	平成30年5月30日	中日新聞	
ハナショウブ 3日ごろ満開 亀山公園	平成30年5月30日	朝日新聞	
多機能型図書館目指す 亀山市、整備基本計画を策定	平成30年5月30日	伊勢新聞	
ハナショウブ咲き始める 亀山公園で1万2千株	平成30年5月31日	伊勢新聞	
関宿街道の百六里庭で席レインボー会写真展 亀山、人物や花な	平成30年7月3日	伊勢新聞	
「星のきらめき」アート作品展示 亀山の商店街	平成30年7月5日	中日新聞	
21、22日に祇園夏祭り 亀山関宿 山車巡行や灯おどり	平成30年7月5日	伊勢新聞	
和の空間で種やかに過ごす 亀山に古民家デイサービス開業	平成30年7月6日	中日新聞	
リフォームに補助金 亀山市 市外からの移住に空き家活用を	平成30年7月7日	中日新聞	
亀山市が支援物資 岡山・高梁市に飲料水6000本	平成30年7月10日	毎日新聞	
亀山市が支援物資 西日本豪雨 岡山・高梁へ飲料水	平成30年7月10日	中日新聞	
岡山・高梁市へ飲料水を支援 亀山市、職員も派遣	平成30年7月10日	伊勢新聞	
太鼓息合わせ本番へ きょうから関宿祇園夏まつり	平成30年7月21日	中日新聞	
山車が巡行 関宿祇園夏まつり開幕	平成30年7月22日	中日新聞	
山車舞台回しに歓声 亀山で関宿祇園夏まつり	平成30年7月23日	伊勢新聞	
博物館が学校開校 亀山 児童ら昔のくらしなど学ぶ	平成30年7月30日	伊勢新聞	
懐中電灯を手に探検 夜の博物館で小学生ら 亀山 いつもと違う	平成30年7月31日	伊勢新聞	
亀山の一番を紹介 市歴史博物館「夏休みの自由研究に」	平成30年8月1日	伊勢新聞	
灯おどりや花火 亀山で4日に納涼大会	平成30年8月1日	伊勢新聞	
祭りの山車巡行 みこし担ぐ男衆 亀山・どんぐりが写真展	平成30年8月2日	伊勢新聞	
「灯おどり」で暑い夜消爽 亀山 納涼大会に1万2000人	平成30年8月6日	伊勢新聞	
18日に納涼花火大会 亀山関宿 2000発を打ち上げ	平成30年8月9日	伊勢新聞	
観光客や住民憩いの場に 旧佐野家住宅を一般公開 亀山市長らオープン祝う	平成30年8月12日	伊勢新聞	
明治期の家屋 休憩所に改修 亀山市 旧東海道観光の拠点に	平成30年8月14日	中日新聞	
旧佐野家住宅を公開 亀山 休憩・交流スペースにも	平成30年8月14日	毎日新聞	
心形刀流武芸形を披露 県無形文化財 亀山で150年余の伝承	平成30年9月11日	伊勢新聞	
東海道関宿をPR 亀山市がセミナー	平成30年10月16日	伊勢新聞	
4県の歴史遺産巡り景品を 14市町カードラリー始まる	平成30年10月18日	中日新聞	
歴史まちづくり推進へ 静岡で14市町サミット	平成30年10月18日	中日新聞	
時代行列や山車巡行 亀山で関宿街道まつり	平成30年11月5日	伊勢新聞	
偲みの行列 晴れやか 東海道関宿街道まつり	平成30年11月5日	中日新聞	
文化財「関宿」を火災から守ろう 亀山で消防訓練	平成31年2月18日	伊勢新聞	
卒業記念に6年生が植樹 今年は東小、市長も参加	平成31年2月17日	伊勢新聞	
どうなる？関宿の未来 「空き家」や「観光」5課題話し合い	平成31年2月25日	中日新聞	
伝統的建造物、どう残す 関宿の未来考える 亀山でワークショップ	平成31年2月25日	伊勢新聞	

定性的・定量的評価(自由記述) * 定量的評価は可能な範囲で

歴史まちづくり事業において修理した歴史的建造物を積極的に活用しており、その事例が新聞等で報道された。

進捗状況 * 計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

特になし

状況を示す写真や資料等

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 平成30年度

項目

歴史まちづくりの効果

定性的・定量的評価(自由記述) ※ 定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

・亀山城周辺歴史的公開施設来場者数の推移
 亀山城多門櫓を軸とし、亀山城周辺の施設等の面的な整備を行ったことにより、公開施設の回遊性が向上し、来場者数の増加に繋がった。
 ・住民意識の向上(アンケート結果による)
 東海道関宿のまちなみ保存とともに亀山城周辺の施設整備を行ったことにより、まちなみ保存に対する住民意識が向上し、観光地としての魅力が高まりつつある。

進捗状況 ※ 計画年次との対応

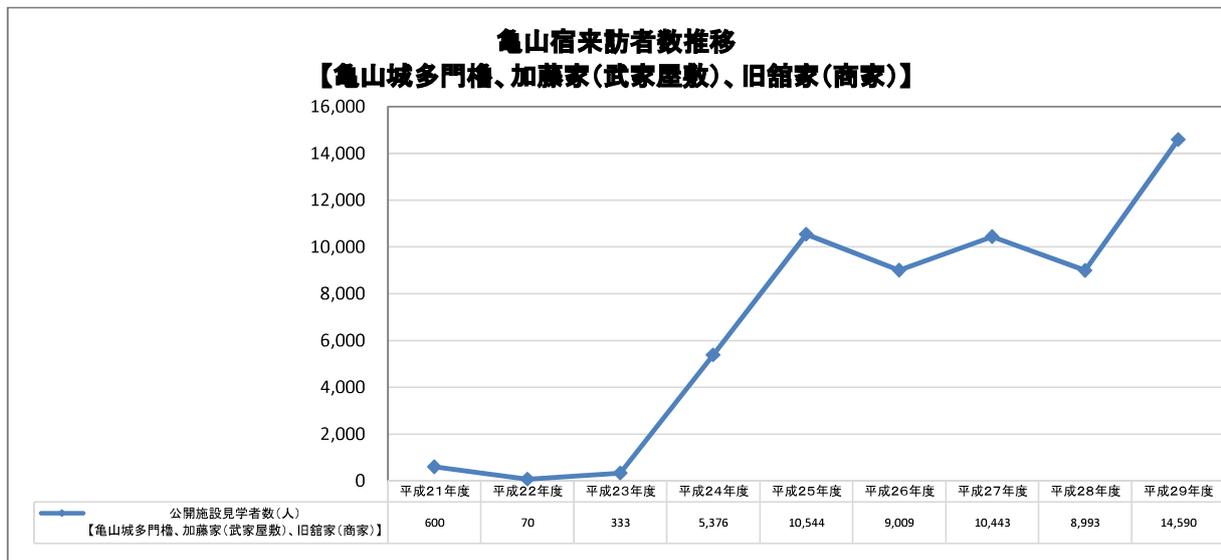
実施にあたっての課題(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

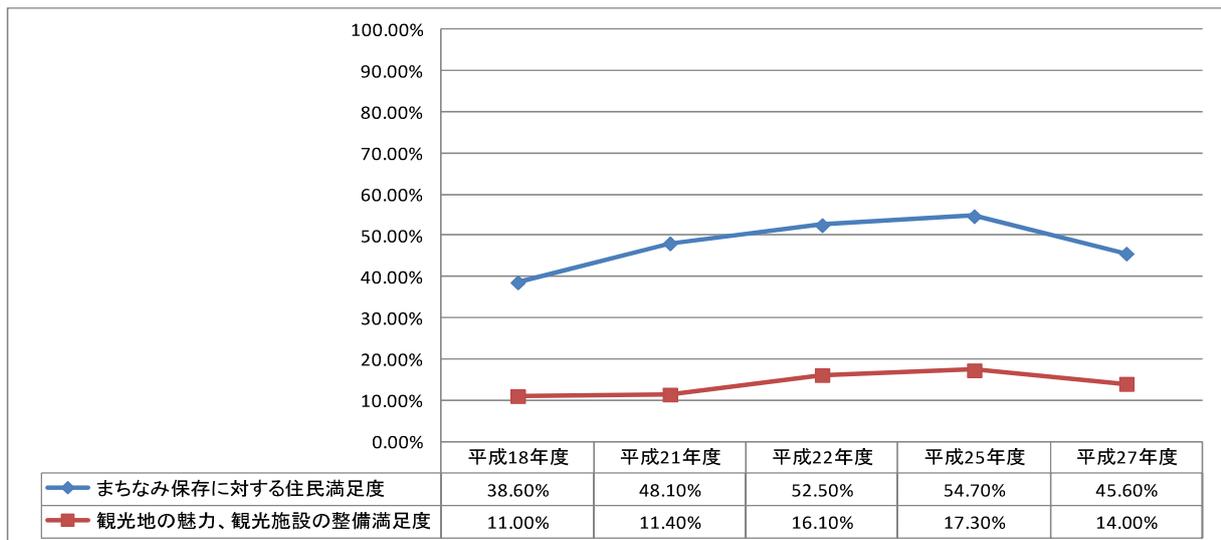
特になし

状況を示す写真や資料等

■ 亀山城周辺歴史的公開施設来場者数の推移



■ 住民意識の向上(アンケート結果による)



法定協議会等におけるコメント

(様式4)

評価対象年度	平成30年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 亀山市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 平成31年3月15日	
(コメントの概要)	
● 協議会議事	
(1)歴史的風致形成建造物の指定候補について	
(2)亀山市歴史的風致維持向上計画の変更について	
(3)平成30年度進行管理・評価シートについて	
(全体意見)	
・事業の適切な執行に努められたい。	
(個別意見)	
・歴史的風致形成建造物指定候補である旧田中家住宅と他施設との連携について、見直しいただきたい。	
・関の山車会館の正面にある住宅など、歴まち計画に記載されていない他施設の改修についても検討されたい。	
(今後の対応方針)	
・旧東海道を軸とし、亀山、関、坂下の各歴史的風致に相応しい整備を検討していきたい。	
・旧田中家住宅については、平成31～令和2年度の2か年で修理を完了するとともに、整備後の活用について、関宿の回遊性が向上するように他施設との連携についても検討していきたい。	